

小規模企業景気動向調査

[平成23年11月期調査]

～一部業種において改善が見られるも、低水準が続く小規模企業景況～

2011年12月22日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2011年11月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…一部業種において改善が見られるも、低水準が続く小規模企業景況…◇

11月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲34.9と小幅ながら1.2ptの悪化となった。特に、小売業において景気低迷の影響が強く出ており、全てのDIにおいて悪化した。しかし、建設業においては、資金繰りを中心に改善の兆しが見えつつも、地域的な偏りが見え、先行き不透明な結果となった。

<製造業> ◇…タイ洪水被害の代替需要があるものの、円高の不安が払拭できない製造業…◇

製造業DIは、▲28.3と小幅ながら1.5pt悪化となった。タイの洪水被害の関係で、金型、工作機械や精密部品製造業等において、代替受注があり、売上が上がった企業がある一方、部品供給に影響があった企業もある。一部の企業では、受注減など円高の影響が大きくなってきており、依然として先行きは不透明である。

<建設業> ◇…若干改善したが、公共事業の減少により、厳しい状態の続く建設業…◇

建設業DIは、▲35.8と前月比で1.0ptと小幅な改善となった。公共事業の受注は低下しており、業界全体の回復には程遠いが、一部では、震災特需により、当面の売上は確保できている地域もある。また、電気工事業等においては、発注の条件が厳しく、仕事を受けても利益が出ない状態が続いている業種もある。

<小売業> ◇…横ばい傾向から悪化に転じ、引き続き厳しい状態の小売業…◇

小売業のDIは、▲44.0ptと先月とは一転4.6ptの悪化となった。衣料品小売業では、11月中旬まで暖かい日が続いた影響で、冬物衣料が振るわず、売上げが伸び悩んだ。また、タイの洪水の影響で、白物家電を中心に納期に遅れが出てきている。季節柄、節電関連商品や暖房器具の売れ行きが好調であるが、その効果はあくまで限定的で、他の商品へ波及する見込みはない。

<サービス業> ◇…前月と同水準にとどまり、本格的回復までは遠いサービス業…◇

サービス業DIは、▲31.6と前月から0.3ptとほぼ同水準であった。一部ではあるが、震災以降自粛傾向にあった旅行客需要が動き出してきている。しかし、原油等の原材料高騰に加え、11月中旬まで冬らしい寒さが到来せず、秋物から冬物への衣類の切り替え需要が少なく、クリーニング業は苦戦を強いられている。また、理美容関連は、節約傾向から散髪の間隔を長くする人が増え、売上げが低迷している。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲31.1	▲32.1	▲1.0	▲20.8	▲19.5	1.3	▲29.3	▲24.9	4.4
採算	▲31.7	▲30.1	1.6	▲26.7	▲25.1	1.6	▲39.5	▲31.8	7.7
資金繰り	▲28.4	▲27.4	1.0	▲22.4	▲22.1	0.3	▲41.2	▲32.9	8.3
業況	▲33.7	▲34.9	▲1.2	▲26.8	▲28.3	▲1.5	▲36.8	▲35.8	1.0

業種	小売業			サービス業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲38.6	▲44.4	▲5.8	▲35.6	▲39.7	▲4.1
採算	▲33.9	▲37.4	▲3.5	▲26.7	▲26.4	0.3
資金繰り	▲28.1	▲33.1	▲5.0	▲21.7	▲21.6	0.1
業況	▲39.4	▲44.0	▲4.6	▲31.9	▲31.6	0.3

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課

〒1000006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内 雅史